年　　月　　日　提出

動 物 実 験 計 画 書

長岡工業高等専門学校長　殿

所属学科

職　　名

実験責任者　氏名　　印

実験責任者 （教員に限る）	氏名	学科・職名	TEL	講習受講 済・未
動物実験実施者及び飼養者* （全員記入のこと）	氏名	学科・職名	TEL	講習受講 済・未 済・未 済・未 済・未 済・未
研究課題				□新規　□継続
動物実験の内容（目的、意義等について記載して下さい）				
動物実験の実施予定期間	年　月　日 ～　年　月　日			
動物実験の実施場所				
動物の飼育場所				

＊6名以上の場合には別紙に同様な書式で書き、添付して下さい。
選択項目（□印）の適合項目を塗りつぶして（■）下さい。

<table>
<tr><td>安全管理上注意を要する動物実験について（実施される実験区分）</td><td colspan="3">□一般動物実験
□遺伝子組換え動物使用実験
（区分：　　承認番号：　　）</td></tr>
<tr><td>動物実験を必要とする理由</td><td colspan="3">□検討したが、代替手段がない
□検討したが、代替手段では精度が不十分
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">使用動物について</td><td colspan="2">遺伝的保証　　□あり　□なし</td><td>微生物学的保証　□あり　□なし</td></tr>
<tr><td>使用動物種及び系統名</td><td>使用動物数</td><td>入手先</td></tr>
<tr><td colspan="3">実験動物種選択の理由</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用動物数の算出根拠</td></tr>
<tr><td colspan="4">動物実験の方法（具体的に詳しく書いて下さい。スペース不足の場合は別紙を添付して下さい）</td></tr>
<tr><td colspan="2">想定される痛みのカテゴリの自己判断**</td><td colspan="2">□ A　□ B　□ C　□ D　□E（Eに該当する実験は認めない）</td></tr>
<tr><td colspan="4">動物の苦痛軽減・排除の方法および保定・拘束の時間について（関連事項を複数選択）
□軽微な苦痛の範囲なので特に処置を講じない
□鎮痛剤・麻酔等を使用する（薬剤名　　）
□重度のストレスや痛みを伴う実験であるが、実験の都合上苦痛の軽減・排除の方法がない
（実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること）
□短時間（24 時間以内）の保定・拘束なので特に問題はない
（保定・拘束器具名：　　）
□実験の都合上、長時間（２４時間以上）の保定・拘束はやむを得ない
（保定・拘束器具名：　　）
（実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること）
□動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する
□その他（具体的に　　）</td></tr>
<tr><td colspan="4">実験終了後の処置（実施する処置を全て選択）
□過剰麻酔による安楽死（薬剤名　　）
□炭酸ガスによる安楽死
□物理的方法による安楽死（□頚椎脱臼、　□断首、　　適合項目の□印を塗りつぶす）
□その他（具体的に　　）</td></tr>
</table>

屠体の処理 □外部業者に委託　　□その他（　　）

審査年月日：　　年　　月　　日 □本実験計画は、長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合する。 □本実験計画は、長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合しない。 意見等：
承認年月日：　　年　　月　　日 □この計画を承認する　　有　効　期　限　　年　　月　　日 □この計画は承認できない 承認番号： 長岡工業高等専門学校長　　氏名　　印

＊＊は、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2911.html の p.119 を参照して、判断してください。

実験計画申請書は年度ごとに提出してください。